

第8回 地圏資源環境研究部門 成果報告会



日時：2009年12月3日（木）13:00-17:15

場所：秋葉原コンベンションホール（秋葉原ダイビル・2F）

<http://www.akibahall.jp/data/access.html>

テーマ：部門第2期の成果と第3期への展望

プログラム

- 13:00-13:20 部門研究紹介 研究部門長 矢野雄策
- 13:20-13:50 「南関東ガス田（水溶性天然ガス資源）の地質・地化学的研究
-地質・資源情報の把握とそのアウトカム-」
地圏化学研究グループ 佐脇貴幸
- 13:50-14:20 「次世代二酸化炭素地中貯留 -第3期研究への試案-」
主幹研究員 當舎利行
- 14:20-14:50 「地圏資源環境研究部門における地層処分安全規制支援研究
-第2期の成果と今後の展望-」
地下環境機能研究グループ 伊藤一誠
- 14:50-15:30 ポスターセッション
- 15:30-16:20 招待講演「生物を利用した資源開発と環境修復」
東北大学 井上千弘
- 16:20-16:50 「土壌汚染リスク研究の成果と環境ガバナンスへの展開」
副研究部門長・地圏環境リスク研究グループ 駒井 武
- 16:50-17:15 ポスターセッション
- 17:15-19:00 懇親会（ポスター会場）

POSTER SESSION

- ・部門13研究グループの紹介
- ・東京首都圏における地下水・地下温度環境の変遷
- ・九州の火山・地熱活動の時空変化とフィリピン海プレートスラブの沈み込みの関係
- ・New intra-channel architecture within sinuous Amazon slope channel revealed by a 3D seismic study
- ・高性能アルミニウムケイ酸塩吸着剤(ハスクレイ)の生成過程と性能変化について
- ・枯渇油田における油層内微生物のメタン生成経路の解明
- ・Carbon isotopic relationship between methane and archaeal lipids in near-surface sediments from the Nankai Trough
- ・短いロッドにおけるひずみ計測
- ・二酸化炭素吸着に伴う石炭の破壊強度の変化
- ・プロトン核磁気共鳴を用いた日本産の地質試料の水理学的物性の研究
- ・花こう岩石材に浸透する水
-中性子ラジオグラフィ試験による可視化-
- ・サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト2007『花崗岩を通して地域を考える』
- ・古代吉備国から現在までの財（たから）を築いた石たち
- ・中国とラオスにおけるイオン吸着型希土類鉱化作用の比較
- ・東アジア鉱物資源図の紹介 -子媒体による情報提供について-
- ・地圏資源環境部門の国際展開 -国連ESCAPとの協力-
- ・CO₂地中貯留のリスクアセスメントの課題
- ・世界における原子力発電及び高レベル放射性廃棄物地層処分の現状
- ・地層処分とリスクガバナンス

参加申込先：<http://unit.aist.go.jp/georesenv/event/houkokukai09.html>

報告会参加費：無料（懇親会費 5,000円）

ジオ・スクリーニングネットCPD:4単位（要事前登録）

〒305-8567 つくば市東1-1-1（独）産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門
部門成果報告会事務局 TEL (029) 861-3703